

教科名	理科	週時間数	4時間	学年	2年
使用教科書 及び 副教材等	教科書「未来へひろがるサイエンス2」啓林館 資料集「理科資料集」 フラットファイル、単元別プリント「学習の達成」				

学習のねらい		【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (例) どうして～なるのかわかった、～のような実験方法で行えば、明らかにできる・・・ 【思考力・判断力・表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (例) この結果から考えられることは〇〇だ、次、〇〇したら明らかにできるだろう、日常生活の〇〇と関連付けて考えると、〇〇だと考えられる・・・ 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 (例) なぜ〇〇なるのだろうか？、〇〇って不思議だからさらに調べてみよう、〇〇を調べてみたけれど、うまくいかなかったから次は〇〇してみよう・・・			
目指す姿		支え合う	・課題解決するための見通しや観察・実験方法などを仲間とともに考え合う姿 ・課題に対して、理科の見方・考え方を働かせながら考えたことを持ち寄り、様々な視点から考えられたことを意見交換したり、議論したりする姿 ・端末を用いて調べた図やイラスト、記録した実験動画や実験結果の写真等を用いて、仲間たちが理解しやすいように工夫している姿		
		高め合う	・仲間との意見交換や議論を通して、自分の考えをより妥当なものにしていたり、よりよい考えを生み出したりしている姿		
学習の進め方		【学習への取り組む姿勢】 ○仲間と相談したり、何度も挑戦したりしながら正しい知識や正確な実験方法を身に付けよう。 ○仲間と話す中でよりよい考えを取り入れながら、自分の考えをより妥当性のあるものにしよう。 ○自分が疑問に思ったことをどんどん探究していこう。 【家庭学習】 ○授業内容の予習や復習を行いましょう。(ワークやプリントをしっかりと理解することが大切) ○レポートなどの宿題に取り組んだり、授業や生活の中の疑問を自主的に調べてみよう。 【端末の活用】 ○授業中や生活の中で疑問に思ったことを積極的に調べてみよう。 ○実験・観察の内容を動画や写真に残して、課題解決の方法の1つとして活用してみよう。			
定期テスト		出題方針	授業中に行った内容を中心に、観点別の問題を出題します。		
		範 囲 (予定)	1学期中間	生物の体のつくりとはたらき	
			1学期期末	生物の体のつくりとはたらき、化学変化と原子・分子	
			2学期中間	化学変化と原子・分子、電流とその利用	
			2学期期末	電流とその利用	
			学 年 末	電流とその利用、地球の大気と天気の変化	
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	授業プリント(知識や技能)レポート 観察・実験中の様子 テスト:「知識・技能」の問題		・正しい方法で観察・実験ができる。 ・正確にスケッチやグラフ化などを行うことができる。 ・理科に関する概念や用語を正しく理解し、説明できる。	
	思考・判断・表現	授業プリント(仮説や考察)レポート 観察・実験中の様子 テスト:「思考・判断・表現」の問題		・観察結果から、共通点や相違点を見出し、説明できる。 ・観察・実験で明らかになった事実をもとに、自分の考えをもったり、仲間がわかるように説明したりできる。 ・観察・実験で得た事実をいろいろな視点から考えることができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	授業プリント(まとめや振り返り)レポート 授業における取組の様子を総合的に判断する テスト:「主体的に学習に取り組む態度」の問題		・実験結果の関係性や日常生活とのつながりを見つけるなど課題に対する自分の考えを説明しようとしている。 ・授業でわからなかったところを教科書やパソコン等で調べたり、先生や仲間に関わたりしてわかるように努める。 ・単元や毎回の授業を通して、自分の学びを振り返って、次にどんなことを学ぶのかを明らかにしている。	

年間授業計画書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4月	生物の体の つくりとはたらき	- 生物の体をつくるもの - 植物の体のつくりとはたらき - 動物の体のつくりとはたらき - 動物の行動のしくみ	36	- 生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解する。 - 植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。 - 消化や呼吸、血液の循環について、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを理解する。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 - 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。
	5月				
	6月				
2	7月	化学変化と 原子・分子	- 物質の成り立ち - 物質の表し方 - さまざまな化学変化 - 化学変化と物質の質量	36	- 物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。また、物質は原子や分子からできていることを認識する。 - 原子や分子を化学式で表す。 - 物質の組成や化学変化を表す。 2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだし、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できる。 - 酸化と還元が同時に起きていることや、化学変化に伴う熱の出入りについても認識する。 - 化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。
	9月				
	10月				
3	11月	電流とその利用	- 電流の性質 - 電流の正体 - 電流と磁界	40	- 回路の基本的なつながりや、電圧と電流の関係について規則性を見いだすとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。 - 日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見いだし、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。 - 日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉える。
	12月				
	1月	地球の大気 と天気の変化	- 地球をとり巻く大気のように - 空気中の水の変化 - 天気の変化と大気の動き - 大気の動きと日本の四季	28	- 地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解する。 - 身のまわりの大気の状態を観測し、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いだす。 - 霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。 - 気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。 - 大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。
	2月				
	3月				